

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）
分担研究報告書

血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の肝移植適応に関する研究

研究分担者 永野 浩昭
大阪大学大学院 消化器外科 准教授

研究要旨 HIV/HCV 重複感染患者は、HCV 単独感染患者などに比して急速に肝不全へと進行するリスクが高いとされる。今回、大阪大学・大阪医療センター・神戸大学の共同研究者により、大阪医療センターに通院歴のある薬害による HIV/HCV 重複感染患者について評価し、今後の検討課題を確認した。

共同研究者

白阪 琢磨、上平 朝子、笠井 大介（国立病院機構大阪医療センター 感染症内科）
三田 英治（国立病院機構大阪医療センター 消化器内科）
濱 直樹（大阪大学大学院 消化器外科 助教）

A．研究目的

血液製剤由来の HIV/HCV 重複感染者の予後は、HAART 導入後に著しい改善を認めたと、その一方で HCV 肝硬変から肝不全に至る症例が増加している。このような症例に対しては、肝移植が唯一の救命手段であるが、現時点ではその適応については明らかにされていない。

本研究では、このような移植適応の判断が困難である HIV/HCV 重複感染患者の肝機能や治療経過を解析することで、肝移植施行の至適時期を探索することを目的とする。

B．研究方法

大阪医療センターに通院歴のある薬害による HIV/HCV 重複感染症例の治療経過や肝機能について検討した。

C．研究結果

現在までに大阪医療センターで通院歴のある症例は 82 名であった。そのうち、現在も通院中の患者は 28 名（30 歳代：14 名、40 歳代：10 名、50 歳代：4 名）で、24 名（86%）は Child-Pugh 分類 A であり、Child

B 1 名（4%）、不明 3 名とそのほとんどの症例において肝機能は保たれていた。また、MELD スコアもほとんどの症例が 10 未満であった。対象となった 82 例中、通院中に死亡した症例は 20 例あり、そのうち 11 例（55%）は肝疾患を原因に死亡していた。現在、門脈圧亢進による食道静脈瘤などで 18 例が治療を要しているが、そのうち 17 例は Child A で肝機能は保たれていた。

D．考察

本邦での脳死移植はドナー提供者が非常に少なく、実際には医学的緊急度が 8～10 点の患者が大部分を占めている。HIV/HCV 重複感染患者は比較的肝機能は保たれているため、現行の待機点数評価では脳死肝移植待機リストに登録しても移植に至らないことが予想される。既存の報告によると、重複感染例は肝線維化の進行が早いとされ、最適な移植のタイミングを考慮した適応基準を検討する必要性があるとされる。今後、少なくとも現在通院中の患者においては、肝線維化の評価、食道静脈瘤を含めた門脈圧亢進症の精査を行うことが必要である。

E . 結論

HIV/HCV 重複感染患者の肝線維化の進行は早いことから、通常の HCV 肝硬変よりも移植適応の判断が困難であるが、通院施設と肝移植実施施設との円滑な診療連携を目指すとともに、脳死および生体肝移植の至適施行時期の検討が今後も重要な課題である。

F . 健康危険情報

なし

G . 研究発表

1 . 論文発表

外国語論文

1. Marubashi S, Nagano H, et al. Laparoscopy-assisted hybrid left-side donor hepatectomy. World J Surg 37(9):2202-2210, 2013
2. Kobayashi S, Nagano H, et al. Evaluation of safety parameters and changes in serum concentration in liver transplant recipients treated with doxorubicin during the anhepatic period. Cancer Chemother Pharmacol 72(6):1325-1333, 2013
3. Marubashi S, Nagano H, et al. Hepatic artery reconstruction in living donor liver transplantation: risk factor analysis of complication and a role of MDCT scan for detecting anastomotic stricture. World J Surg 37(11):2671-2677, 2013

2 . 学会発表

国際学会

1. Kobayashi S, Nagano H, et al. Liver transplantation for alcoholic liver cirrhosis. 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 2013/9, Kyoto, Japan.
2. Hama N, Nagano H, et al. Protocol and outcome of ABO incompatible living donor liver transplantation. 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 2013/9, Kyoto,

Japan.

3. Wada H, Nagano H, et al. Incidence and management of cytomegarovirus infection after living donor liver transplantation. 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 2013/9, Kyoto, Japan.
4. Okubo K, Nagano H, et al. A case report of the living donor liver transplantation with difficulty in portal veins and hepatic arterial reconstruction. 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 2013/9, Kyoto, Japan.
5. Tsuda Y, Nagano H, et al. Liver transplantation with modified portal vein anastomosis for the patients with portal vein stenosis (PVS) or thrombosis(PVT). 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 2013/9, Kyoto, Japan.

国内学会

1. 永野浩昭,他. 当院における脳死肝移植症例の検討. 第 99 回日本消化器病学会総会, 2013/3, 鹿児島.
2. 小林省吾, 永野浩昭,他. 教室におけるアルコール性肝硬変に対する肝移植. 第 31 回日本肝移植研究会, 2013/7, 熊本.
3. 小林省吾, 永野浩昭,他. 当施設におけるアルコール性肝硬変に対する肝移植. 第 49 回日本移植学会総会, 2013/9, 京都.
4. 小林省吾, 永野浩昭,他. 腹腔鏡下肝ドナー手術における血管グラフト採取. 第 26 回日本内視鏡外科学会総会, 2013/11, 福岡.
5. 和田浩志, 永野浩昭,他. 教室における脳死肝移植登録者と肝移植施行症例の検討. 第 113 回日本外科学会定期学術集会, 2013/4, 福岡.
6. 和田浩志, 永野浩昭,他. 肝移植後のサイロメガロウイルス感染症対策と現状. 第 31 回日本肝移植研究会, 2013/7, 熊本.

7. 和田浩志, 永野浩昭,他. 門脈再建困難症例に対する再建方法の適応についての検討. 第 49 回日本移植学会総会, 2013/9, 京都.
 8. 和田浩志, 永野浩昭,他. 脳死肝移植希望登録者の転帰と待機状況よりみた脳死肝移植の現状と問題点. 第 75 回日本臨床外科学会総会, 2013/11, 愛知.
 9. 濱直樹, 永野浩昭,他. 成人肝移植術後長期経過例における腎機能障害の検討. 第 113 回日本外科学会定期学術集会, 2013/4, 福岡.
 10. 濱直樹, 永野浩昭,他. 大阪大学における急性肝不全に対する脳死肝移植. 第 39 回日本急性肝不全研究会, 2013/6, 東京.
 11. 濱直樹, 永野浩昭,他. 当科の血液型不適合肝移植に対する周術期プロトコールと治療成績. 第 31 回日本肝移植研究会, 2013/7, 熊本.
 12. 濱直樹, 永野浩昭,他. 肝細胞癌に対する肝移植の適応拡大に関する検討. 第 49 回日本肝癌研究会, 2013/7, 東京.
 13. 濱直樹, 永野浩昭,他. 改正臓器移植法施行後の脳死肝移植の現状. 第 68 回日本消化器外科学会総会, 2013/7, 宮崎.
 14. 濱直樹, 永野浩昭,他. ABO 不適合肝移植に対する周術期プロトコールと治療成績. 第 49 回日本移植学会総会, 2013/9, 京都.
 15. 大久保恵太, 永野浩昭,他. 成人肝移植における胆道再建の長期成績と胆管狭窄危険因子についての検討. 第 25 回日本肝胆膵外科学会, 2013/6, 栃木
 16. 大久保恵太, 永野浩昭,他. 肝動脈、門脈再建に難渋した生体部分肝移植の一例. 第 31 回日本肝移植研究会, 2013/7, 熊本.
 17. 大久保恵太, 永野浩昭,他. 肝動脈、門脈再建に難渋した生体部分肝移植の一例. 第 49 回日本移植学会総会, 2013/9, 京都.
 18. 津田雄二郎, 永野浩昭,他. 門脈再建困難症例に対する再建方法の適応についての検討. 第 31 回日本肝移植研究会, 2013/7, 熊本.
 19. 津田雄二郎, 永野浩昭,他. 肝移植後のサイトメガロウイルス(CMV)感染症対策と現状. 第 49 回日本移植学会総会, 2013/9, 京都.
 20. 梶原淳, 永野浩昭,他. 脳死肝移植における提供肝に関する当院での検討. 第 68 回日本消化器外科学会総会, 2013/7, 宮崎.
 21. 薬師神崇行, 永野浩昭,他. 脳死肝移植待機例における肝発癌ならびに肝不全への対応と緩和医療について. 第 49 回日本移植学会総会, 2013/9, 京都.
 22. 萩原邦子, 永野浩昭,他. 肝移植後患者の長期フォローにおけるレシピエント移植コーディネーターの関わり. 第 31 回日本肝移植研究会, 2013/7, 熊本.
- H . 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)
- 1 . 特許取得
なし
 - 2 . 実用新案登録
なし
 - 3 . その他
なし

